

オリーブの会通信

2020年6月1日

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



ウイルスの冠に使われたコロナとはラテン語で王様の冠の意、ウイルスの表面にたくさんの突起が見られ王冠に似ていることが命名の由来とのこと、若い時代に「いつかクラウン」ということばがコマーシャルで使われその車は憧れの象徴となり、「コロナ」という一つ弟分の車もありました。このウイルス、英国の王室関係者にも羽を延ばした上に世界的には収束の時期は先の先、国内でも第二波を思わせる現象が生じるなど見透しがつかない現状にあります。

ともあれ、会員の皆様には身近な方を含めご健康が守られておりますでしょうか。

当会では年度末の3月に予定していた竹中哲夫先生をお招きしての講演会から5月の通常総会まで連続3回の例会を開くことができませんでした。

「通常総会」は会の設立以来初の書面開催の方式を採りましたが皆様の温かいご理解とご協力により全議案をご承認いただくことができました。

早く従来通りの会の運営を望むところですが、「新しい生活様式」が言われる中、運営面でも色々と変化を求められることになるかと思いますが柔軟な対応によってこの事態をプラスに転じていけるよう共に努めていきたいものです。

オンライン会議に参加するなど少し前まで思ってもみませんでした。5月28日厚労省のひきこもり支援専門官(北條氏)はじめ2名が加わったオンライン会議に初めて参加する機会を得ました。

この機に学んだことですがひきこもりへの行政面の対応は、令和3年度から改正「社会福祉法」の基で制度上大きな変化が本格化することが予測されます。これまでは高齢者介護、障がい者支援、子ども家庭支援、生活困窮といった社会的課題は分野ごとに分かれていましたが、改正社会福祉法では複合的な課題については分野を超えて包括的・重層的な支援体制の整備が位置づけられます。ひきこもりの複合的な課題についても同様に、市町村で様々な課題を包括したワンストップ型の相談窓口機関の設置と支援体制の整備を行うこととなる流れの中にあります。

この様な大きな時代の変化の流れの中で、私たち会員は組織としての会と各個人の両面において強い自覚と合せ具体的な対処方法(行動)の実行が具体的に求められることとな

ります。

私たちの対処方法（行動）の如何は我が子の次元を超えてひきこもりの今後にとって大きな影響を及ぼすことになると思います。従来の間体などの束縛にいつまでも囚われることから脱却してこれからは我が子と自らの家庭にとって何が必要であるかを考え率直に行政に説明・相談し、必要があれば訴えていくことが必要となります。このように10年に一度あるかないかの変化が到来したこの機に、自分自身はもとより自分の住む市や町がこの流れに取り残されることのないように声を発して是非具体的な行動を起こしていきましょう。

第214回月例会ご案内

日 時	2020年6月28（日）13：30～16：30（受付：13：00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686
内 容	☆一部 13：30～「2020年度通常総会」書面開催の結果報告及び連絡事項等 13：40～(1)『改正「社会福祉法」と行政のひきこもり対応施策の変化』 *厚労省ひきこもり支援専門官によるレクチャーの内容と今後の歩み (2)ひきこもり関連のDVDの視聴による研修 ☆二部（第一部終了後10分程度休憩の後） 15：30～16：30 グループ別話し合い

第215回月例会ご案内

日 時	2020年7月26（日）13：30～16：30（受付：13：00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686

内 容	<p>☆一部 13：30～ 会からの諸報告 13：35～ 講演 演題 「ひきこもりの家族・当事者それぞれのライフプラン」 講師 石川 智 氏 講師プロフィール 1966 年高知県に生まれ、現在高知県ひきこもり親の会「KHJ やいろ鳥」の会役員 ファイナンシャルプランナーとして特に地域福祉の分野で福祉 FP として活躍中でひきこもりに対する理解が深い - 途中 10 分程度の休憩を取ります -</p> <p>☆二部 16：00～16:30 グループ別 話し合い</p>
-----	---

・主に例会の会場として拝借中の「かがわ総合リハビリテーションセンター」が新型コロナウイルスの感染防止対策のため各室の入場定員を従来の 50%に減少して以下の通りとなりました。

2階 第1研修室 : 30名
2階 第2研修室 : 20名

年会費納入のお願い

年会費の納入についてのお願い ****送金の仕方の説明は切り取りして保存をお願いします。**

◎従来の総会や月例会の開催ができなかったため下記の方法で新年度（2020 年度）の会費 5,000 円のお支払いをお早目（7 月末まで）にお願いします。（できれば「ご寄付」も合せて）

○ 年会費・寄付金の送金方法 と 振込先口座等

* 2019 年 6 月から郵貯口座の名義と番号が以下の通りに変わっています。

（①では番号 ②では口座番号 また、双方とも口座名義が変わりました。）

送金方法

・ゆうちょ銀行（郵便局）窓口に備付の「電信払込請求書・電信振替請求書」によって下記の口座に送金いただく方法 ① か、他の銀行から送金いただく方法 ② のうち、いずれかの方法をお願いします。

【送金（振込）先の口座番号】

【方法①、②により振込先口座番号が異なります。】

① ゆうちょ銀行で現金またはご自分のゆうちょ銀行口座から振込する場合
記号 16300 番号 18531751

ケイエチジェイカガワケンオリーブノカイ : ①、②とも同じ

② 銀他行より送金する場合

ゆうちょ銀行 店名六三八(ろくさんはち)

【店番】638 【預金種目】普通預金 【口座番号】1853175

* 郵貯銀行に普通貯金口座をお持ちの方は、ATM を使用し口座間の振替で 100 円の手数料で送金が可能です。

— 1年前までの「NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会」の口座には決して振込しないで下さい。

【2020年6月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

(屋島レグザムフィールド内)



内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております — 第5土曜日は全て休みです —	6	6、13 20、27	土	10:00~16:00	加藤ほか
	7	4、11 18、25	土	10:00~16:00	加藤ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先: ☎ 087-802-2567 — 第1・3土曜日に行います —	6	6、20	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野
	7	4、18	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野

(注) コロナウイルス感染予防のため、中止していましたが、高松市ひきこもり当事者傾聴サロンは6月から再開できることになりました。

初めて参加される方は、(☎ 087-802-2568) オリーブの会まで、お電話ください。

(運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第1回運営委員会(2020年度)	6	20	土	13:30~16:30	
第2回運営委員会	7	18	土	13:30~16:30	
第3回運営委員会	8	15	土	13:30~16:30	
第4回運営委員会	9	19	土	13:30~16:30	
第5回運営委員会	10	17	土	13:30~16:30	

* ポパイの会(居場所活動) 予定は、別途印刷の同封のパンフをご活用ください。

* 「オリーブの会女子会・家族会 in みとよ」も7月から再開されることになりました。

- ・女子会は第1・3水曜日、家族会は第2火曜日です。
- ・場所は三豊市役所たかせ人権福祉センターに変更になりました。



お知らせ

- ・当会の居場所で行っている「ひきこもり電話相談窓口業務のスタッフに今年度新たに9名の方が参加を希望され現在、業務の詳細説明を少人数単位で開始しています。
新規参加希望者はいずれも昨年度、県のひきこもりサポーター養成研修を終了した方です。知識と経験また熱意が必要な業務であり会としてもこの方々が希望に従いスタッフとして働きが開始できるように取組みを行っていきます。

KHJ ジャーナル「たびだち」の販売拡大について協力をお願い

KHJ 本部は、本部機関誌「旅立ち」第 91 号の発行を機に誌面を大幅に刷新し既に新版を 3 回皆様のお手元に届けることができます。

ご承知の通り内容が充実し大変好評をいただいている一方で有料販売（1 冊 500 円）の部数が当初の予定に届かず苦慮しています。

この原因には販路が確立していないことや価格の設定また KHJ 支部においては各会員への送料の負担増加なども課題として持ち上がっています。

幸い当会は当面、年間 4 冊の機関誌代金（年間 2, 000 円相当）を会員からの年会費（5, 000 円）で賄い送料を含め無料で皆様にお届けする予定です。

そこをお願いですが、お知り合いの方はじめにお薦めいただき年間購読いただける方の増加にご協力をして下さい。なお、県内で年間購読している方はまだ数名しか居ません。

私たちの努力で社会に広くひきこもりに関する理解を深めていくとともに本部の機関誌発行事業が財政的に維持できるよう支えていきましょう。

- KHJ 会員であるなしを問わず、年間購読(3, 000 円)を申し込むと、発行の都度（年間 4 回の予定）直接送付されてきます。
- 1 冊単位の販売価格は毎号 500 円で、プレゼント用に適します。

おわり